

環境通信 第3号(12月号)

平成30年12月発行(年4回発行)・発行元:大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

電気自動車(EV)でオフィスビルへ電力供給!

九州電力や日産自動車などは、電気自動車(EV)のバッテリーからオフィスビルに電力を供給する実証実験を始めると発表しました。これはEVのバッテリーを蓄電池のように使うもので、オフィスでの電気使用量が多い時間帯で活用し、電力需要が少ない夜間にEVバッテリーで充電し日中にオフィスビルへ放電するものです。法人向け電気料金は通常、直近1年間の最大需要電力をベースに算定されることから、電力使用量ピーク時に電力会社から供給を受ける電力量をカットできれば、電気料金の負担軽減に繋がるメリットがあります。

また、九州電力は今年の10月に、太陽光発電の供給量が増え需給バランスが崩れるのを防ぐために、再生可能エネルギーの出力制御を本格実施しており、EVの需給調整力の効果が見込まれた場合、将来的には制御を回避できる方策としても活用できるメリットがあります。この他に、EVが電力の需給調整役として有効に機能するのも検証します。実験では、法人顧客に対し日産のEV(リーフ)1台と、ビル設備と電力のやり取りをする充放電器1基を提供します。実験の開始は2019年1月。期間は1年間で関東と九州の計3カ所程度で実験が行われます。

今後の新しい電力供給のかたちに期待が高まります!

大分市の地球温暖化対策に関する環境教育について

「環境教育出前授業」をご存知ですか?環境対策課では未来を担う子供たちに少しでも地球温暖化について関心をもっていただくために、小学校5、6年生及び中学生を対象に平成26年度から地球温暖化対策をテーマとした「環境教育出前授業」を実施しています。

また、今年度からは教育委員会の協力のもと、年間16校~17校と実施校を拡大し、市内全ての小中学校が受講できるよう計画的に取り組んでいます。授業内容は1時限コースと2時限コースがあり、温暖化のしくみ・温暖化による影響・温暖化の原因となる生活、温暖化対策などのほか、ゴミの削減、環境保全、特定外来生物、さらに中学生には次世代エネルギーである水素エネルギーについても講義を行っています。講義終了後は児童・生徒たちに対しアンケートをとり、今後取り組みたい事や疑問に思ったこと等、さまざまな意見を授業に反映しています。児童・生徒たちから多くの意見をいただいていますので、一部抜粋して掲載しています。併せて今年度の実施校(11月5日時点)9校の授業の様子についても掲載していますので併せてご覧ください。

(意見)

- ごはんを残さず食べることや、ゴミを分別するという事に取り組みたいです。
- 節電や、生態系をこわさない植物を増やしたいです。

(続き)

- 今までコンセントまで抜いていなかったのが、扇風機など使わない時はコンセントを抜く。
- お風呂に入っているときはテレビを消す。
- 豆電球を点けて寝ていましたが、これからはなるべく消して寝ます。
- 燃料電池は水素の性質を活用していろんな物を動かすことにとても驚きました。
- 二酸化炭素を出さないために、車を電気自動車に変えたり、水素エネルギーを活用したりと色々な工夫をしていると初めて知りました。
- 微生物が川の汚れを取ったり、こんなに役に立っているということをごが印象に残りました。
- 都市ガスに何故臭いがついているのかが、とても印象に残りました。
- 天然ガスが地中であって、液体にするためにマイナス162℃まで温度を下げて日本にタンカーで運んでいて、その量が多かったことにびっくりしました。
- 天然ガスが日本では取れないことを知りました。地球温暖化対策に取り組みたいです。

★ 1時限授業

地球温暖化について講義しました。



駕野小学校



判田中学校



野津原中学校



敷戸小学校



城南小学校

★ 2時限授業

滝尾小学校



前半は屋外にて川の生き物について講義を行い後半は温暖化について講義しました。



森岡小学校

前半は地球温暖化について、後半は地域の川(一ノ瀬川と寒田川)の生き物について講義しました。



野津原小学校

前半は「レジ袋を減らす取り組み」について、後半は地球温暖化について講義しました。



穂田東中学校

前半は地球温暖化について、後半は「環境にやさしい天然ガス・都市ガス」について講義しました。

市民会議委員の「取組」や「温暖化に対する想い」について紹介します！

氏名 清原 文明
団体名等 大分地方気象台
団体肩書き 調査官



大分地方気象台は大分県では唯一の気象庁の出先機関です。したがって大分市のみならず大分県内全域で地球温暖化対策の広報を行っています。
また、福岡管区気象台では平成29年3月に気象庁が公表した21世紀末頃の日本の気候予測「地球温暖化予測情報第9巻」の結果を基に、「九州・山口県の地球温暖化予測情報第2巻」を作成しました。各県ごとに解析を行っており、利用者の利便性を図りました。地球温暖化の影響評価や適応策等にご利用ください。
https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/kaiyo/chikyu/report/yosoku/yosoku_download.html

氏名 木下 輝代
団体名等 NPO法人 緑の工房ななぐらす



この会議に参加するようになってから更に温暖化に関心を持つようになり、地球温暖化に関する新聞記事をよく読み、切り抜きをするようになりました。今夏の異常気象による大災害を目の当たりにして誰もが「地球が悲鳴をあげている」と感じたに違いありません。そして温暖化によって影響を受けている動植物の生態系等の問題も他人事ではない状況です。一人の力は微力でもまだまだ出来ることは沢山あります。緑豊かな地球を次世代へ渡しましょう。

氏名 鈴木 武仁
団体名等 公募委員



NPO 法人地球人倶楽部で日本語教師のボランティアをしています。温暖化対策では緩和策、適応策が待たなです。

氏名 梶取 康雄
団体名等 九州電力(株) 大分支社
団体肩書き 地域共生グループ グループ長



弊社グループの思い「ずっと先まで、明るくしたい」を実現していくため、環境保全活動や環境教育などの「環境活動」や子供たちの健全育成に寄与する「次世代育成支援」、NPOや地域の皆様と協働して地域の課題解決に取り組む「こらボラQでん」など、地域・社会共生活動を通じた持続可能な社会づくりへグループ一体となった幅広い分野で活動を展開していきます。

氏名 豊島 雅史
団体名等 大分ガス(株)
団体肩書き 総務課長



大分ガスは、「環境にやさしい天然ガスの普及拡大」はもちろんのこと、家庭用燃料電池エネファームをはじめとした「省エネルギー・低環境負荷の機器、システムの普及」を通して、お客さまのエネルギー利用におけるCO2排出量の低減に貢献できるよう努めています。
大分ガスは今後も引き続き、環境負荷の低減に努めてまいります。

氏名 前田 義憲
団体名等 (株)トキハ
団体肩書き 総務課担当課長



当社で環境担当10年になりますが、その間、全社的には国際的な環境マネジメントシステムのISO14001を認証取得し、企業として環境対策に向き合うことを担う部署に携わってきました。全店舗の従業員に趣旨を伝え、協力し合い、目標に向かっていく楽しさ、また時にはその難しさを感じました。
最近では「エシカル消費」に興味をもちはじめ、継続可能な循環型社会を形成し、次の代へ繋げていければと考えています。

氏名 脇 紀昭
団体名等 (一社)大分県バス協会
団体肩書き 専務理事



私共バス業界では、産業界の自主的取組である「低炭素社会実行計画」を策定し、2020年を目標年次としてCO2の排出削減に取り組んでいます。
この目標達成に向けての業界の取組内容は、エコドライブの推進、低燃費バス等の導入促進、燃費性能の維持に配慮した細かい点検・整備を励行しています。

氏名 清水 剛
団体名等 大分市
団体肩書き 都市計画部長



大分市都市計画部都市交通対策課では、かしこい車の使い方を考える市内広報紙「いっぽ、いっぽ」を発行しており、普段自動車通勤をしている市職員に対して公共交通の利用促進や自転車通勤への転換を促すよう啓発を行っています。また、「自転車が似合うまちづくり」を進めており、自転車走行空間や駐輪場など自転車利用環境の整備を行うことで、自転車利用者を増やし「エコ」な環境を目指しています。私自身も自転車愛好家で、化石燃料に頼らない生活に心掛けています。

氏名 増田 真由美
団体名等 大分市
団体肩書き 教育部長



大分市教育委員会では、夏季の暑さ対策等、児童生徒に望ましい学習環境を提供することを目的に、2学期開始までに中学校普通教室にエアコンを設置しました。エネルギー消費が多くなることもあり、省エネや地球温暖化問題などに関心を持つことができるよう、環境教育を進めてまいります。来年は、小学校の普通教室に設置予定です。また、多くの学校で、空き缶やペットボトルキャップ集めなど、リサイクル活動にも取り組んでいます。

委員のみなさん、ありがとうございました。次回は3月の発行です。お楽しみに！